

## 黒磯駅前活性化プロジェクト

- ◇まちづくり市民投票報告書
- ◇黒磯駅前活性化案  
(えきっぷくろいそからの提言)

えきっぷくろいそ

平成27年2月

## 【目次】

1. まちづくり市民投票の概要.....	2
(1) 目的.....	2
(2) 実施期間.....	3
(3) 投票項目.....	3
2. 市民投票の結果.....	6
(1) 投票者の属性.....	6
(2) 各項目の投票結果.....	7
(3) 自由記述欄の傾向.....	15
(4) オンラインに寄せられた投票項目と投票結果.....	16
3. 黒磯駅前活性化案（えきっぷくろいそからの提言）.....	24
(1) 駅前図書館.....	24
(2) 交流センター.....	24
(3) まちなか環境.....	25
(4) 空き家活用.....	26
(5) 実現に向けて.....	26
4. リバープロジェクトの考察.....	27

# 1. まちづくり市民投票の概要

## (1) 目的

まちのイメージに直結する黒磯駅周辺を市民の交流空間として整備し、まちなかの活性化を目指し策定された黒磯駅周辺地区都市再生整備計画に対し、広く市民の声を集めて、望まれるまちの形を模索していくことを目的に市民投票を実施した。

### ○背景

#### [基本情報]

- |        |                      |                                   |
|--------|----------------------|-----------------------------------|
| 市全体    | :                    | 黒磯駅周辺地区                           |
| ・人口    | 117,812人             | : 5,146人 (平成22年度)                 |
| ・人口密度  | 198人/km <sup>2</sup> | : 3,634人/km <sup>2</sup> (平成22年度) |
| ・営業店舗数 | 約1,400店舗             | : 約250店舗 (平成21年度推計)               |
| ・空き店舗数 | 約300店舗               | : 約80店舗 (平成21年度推計)                |

#### [黒磯駅周辺地区の位置づけ]

かつては黒磯地区の商業の中心地として栄えたが、現在は人口減少と急速な高齢化とともに、低未利用地が散在しており活力が失われている。

平成26年度から都市再生整備計画事業が実施され、コンパクトシティの中心として商業、教育、医療施設などの都市機能を集積させ、公共交通機関の拠点となることが期待される区域である。

#### [黒磯駅周辺地区の課題]

商店街を取り巻く環境の変化に有効な対策を取れなかった結果として、来街者の減少、空き店舗の増加、後継者不足などがあげられる。また、当地区は過去に中活法による活性化計画の実施に取り組んだものの、コンセンサスが得られずに頓挫した経緯を有することから、地区の住民や商店が想いを共有し、組織やエリアの垣根を越えて活動する担い手の組織化が求められる。

#### [活動状況]

これまで、商店街の有志で構成する「黒磯駅前活性化委員会」により、イベントの実施やまちなか拠点(カワッタ家)の整備等の取り組みが行われてきた。この市民投票は、垣根を越えて活動する市民組織として設立した「えきっぷくろいそ」が、市及び専門家であるリバースプロジェクトの支援を受けて実施した。



図 1 黒磯駅前写真



図 2 那須塩原市内から見た黒磯地区の位置

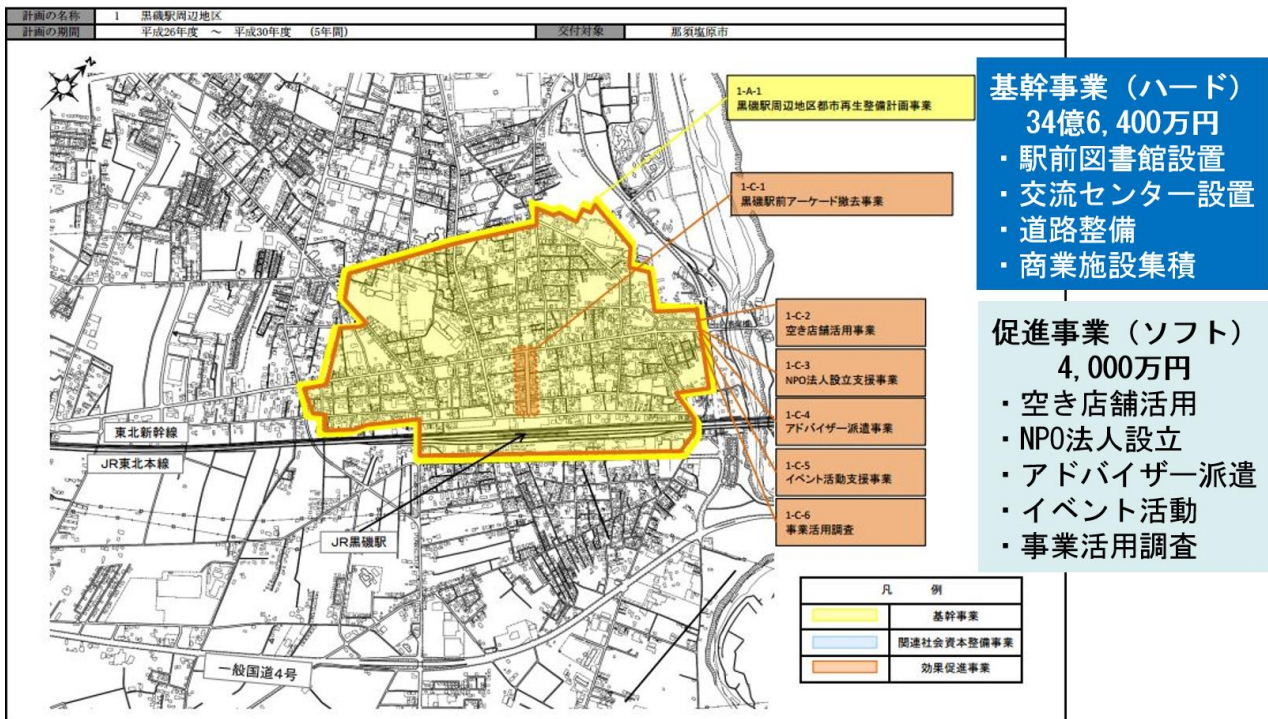


図 3 都市整備計画事業

## (2) 実施期間

平成26年12月5日 (金) ～平成26年12月19日 (金)

## (3) 投票項目

「駅前図書館」「交流センター」「まちなか環境」「空き家活用」に4つのテーマに分類された、黒磯駅前活性化 (案) の24項目それぞれに対して投票する。

黒磯駅前活性化 (案) は、黒磯駅前活性化委員会や各商店会を始め、組織の垣根を越え、多くの市民が参加するワークショップでの議論を経て、まとめられた。

また、インターネット投票にて市民から投稿されたアイデアも投票項目として追加される。

### ①第1回会議（ワークショップ） 平成26年7月25日（金）

那須塩原市の市政情報などや全国の先進事例をワークショップ内で紹介し、黒磯駅前を活性化するためのアイデア出しを実施した。

また、本事業に中心的に関わる市民組織の名称は、参加者の提案により「えきっぷくろいそ」と命名された。「えきっぷ」は、フランス語で「チーム」という意味を持ち、市民が一丸となって黒磯駅前について考えていくという熱い想いが込められている。

### ②第2回会議（ワークショップ） 平成26年8月26日（火）

第1回ワークショップで出たアイデアを駅前図書館・交流センター・まちなか環境・空き家活用の4つのテーマに分類し、計10案のアイデアを考案した。

### ③第3回会議（全体会議：パネルディスカッション） 平成26年9月20日（土）

第2回ワークショップで考案された10案に加え、イメージ図や模型を作成し、当事業のアドバイザーボード委員の方々からの講評を頂いた。

### ④第4回会議（ワークショップ） 平成26年10月17日（金）

第3回全体会議の講評を参考に、10案の細かい見直しを行った。このワークショップ内では、10案の中から特徴的なアイデアを選定し、駅前図書館・交流センター・まちなか環境・空き家活用の項目の中で具体的なアイデアの絞り込みを行い、24項目の投票項目をまとめた。

### ⑤第5回会議（ワークショップ） 平成26年12月5日（金）

まちづくり市民投票に幅広い市民からの参加が得られるよう、「企業・工場」「教育機関」「飲食店」の班に分かれて、効果的なアプローチについて意見交換を行い、具体的なプロモーション計画をまとめた。

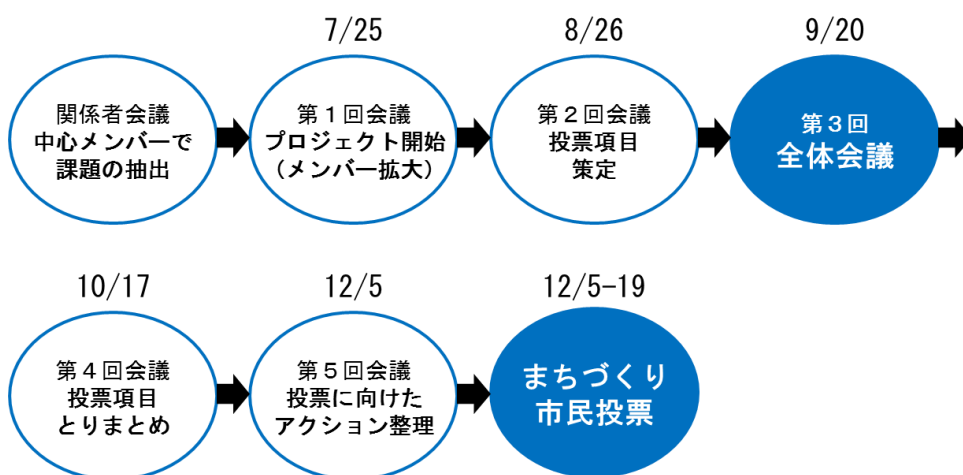


図 4 スケジュール

## (4) 投票方法

### ①インターネットによる投票

投票用インターネットサイトへアクセスし、Facebookの認証を経て、「賛成」又は「反対」を投票する。

また、自らの活性化に係るアイデアを投稿することができる。

### ②投票用紙による投票

指定の投票用紙に必要事項を記入して「賛成」又は「反対」投票する。投票所（表1）に加え、教育機関などでも投票用紙を配布した。

また、自らの活性化に係るアイデアは、自由記述欄に記載することができる。

表 1 投票所一覧

カワツタ家 (本町)	黒磯郵便局 (豊町)	越堀郵便局 (越堀)	黒磯豊浦郵便局 (阿波町)	黒磯中央町郵便局 (中央町)
黒磯青木郵便局 (青木)	J R 黒磯駅 (本町)	J R 那須塩原駅 (大原間)	JR 西那須野駅 (永田町)	黒磯中央自動車学校 (北栄町)
カフェ セントロ (本町)	ひまわり薬局 (阿波町)	エバス (高砂町)	ほっともっと (共墾社)	梅寿司 (住吉町)
鳥政 (宮町)	せいほく (西新町)	Sinn (前弥六南町)	ウニコ (大原間西)	

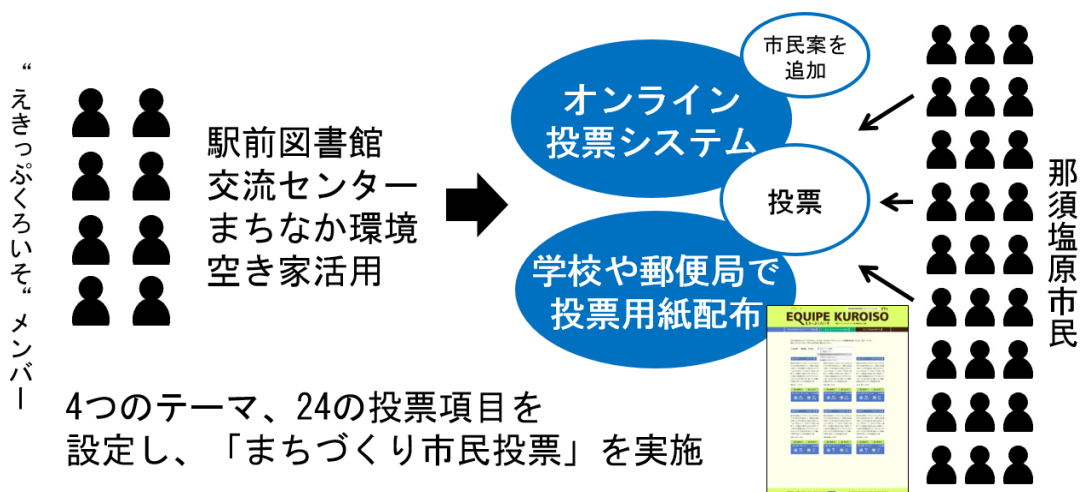


図 5 市民投票概要

## 2. 市民投票の結果

### (1) 投票者の属性

表 2 投票方法別

	計	比率(%)
オンライン	271	3.40
投票用紙	7,708	96.60
合計	7,979	100.00

表 3 性別

	男性	女性	無回答	計
オンライン	184	87	0	271
投票用紙	3,180	4,242	286	7,708
合計	3,364	4,329	286	7,979
比率(%)	42.16	54.25	3.58	100.00

表 4 年代別

	9歳 以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90代 ~	無回 答	計
オンライン	0	32	28	67	73	12	6	1	0	0	52	271
投票用紙	322	3,477	458	1,158	1,141	459	324	112	25	13	219	7,708
合計	322	3,509	486	1,225	1,214	471	330	113	25	13	271	7,979
比率(%)	4.04	43.98	6.09	15.35	15.21	5.90	4.14	1.42	0.31	0.16	3.40	100.00

表 5 地区別

	黒磯	鍋掛	東那須野	高林	西那須野	塩原	市外	無回答	計
オンライン	0	0	0	0	0	0	0	271	271
投票用紙	3,112	413	597	223	1,584	210	1,295	274	7,708
計	3,112	413	597	223	1,584	210	1,295	545	7,979
比率(%)	39.00	5.18	7.48	2.79	19.85	2.63	16.23	6.83	100.00

※オンライン投票は、地区別の設問がないため、無回答として集計

## (2) 各項目の投票結果

### ①A. 駅前図書館

A3やA7などの多機能な施設を希望する意見が多い一方で、A4の図書館外との連携に関する意見には消極的である。また、A1について、20代以下の回答者は、30代以上の回答者に比べて長時間の営業を望む割合が相対的に高い。これは、中高生をはじめとして、当施設を日常的に長時間利用したい20代以下と、長時間営業による運営コストの増加や治安の低下などを懸念する30代以上との、意識の差異によるものと思われる。

表6 駅前図書館に関する投票項目

A1	朝6時から夜22時までの長時間にわたり営業する
A2	ソファを設けて、飲食やおしゃべりできるスペースをつくる
A3	来訪者に分かりやすい駅チカの観光案内所を併設する
A4	近隣のカフェに本を持ち出せる仕組みを導入する
A5	子どもを安心して連れて来られる託児所を設置する
A6	書籍を「育てる」「食べる」などの用途別分類にする
A7	グループワークなどに使える場所をつくる

表7 駅前図書館に関する投票結果

票数		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
賛成	オンライン	206	204	205	148	198	185	203
	投票用紙	5,933	6,161	6,535	5,302	6,450	6,365	6,477
	計	6,139	6,365	6,740	5,450	6,648	6,550	6,680
反対	オンライン	65	56	40	97	51	50	35
	投票用紙	1,588	1,373	984	2,203	1,084	1,103	1,028
	計	1,653	1,429	1,024	2,300	1,135	1,153	1,063
無効	オンライン	0	0	0	0	0	0	0
	投票用紙	14	20	17	17	11	20	15
	計	14	20	17	17	11	20	15
総計		7,806	7,814	7,781	7,767	7,794	7,723	7,758

比率		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
賛成	オンライン	76.01%	78.46%	83.67%	60.41%	79.52%	78.72%	85.29%
	投票用紙	78.74%	81.56%	86.72%	70.49%	85.49%	85.00%	86.13%
	計	78.64%	81.46%	86.62%	70.17%	85.30%	84.81%	86.10%
反対	オンライン	23.99%	21.54%	16.33%	39.59%	20.48%	21.28%	14.71%
	投票用紙	21.07%	18.18%	13.06%	29.29%	14.37%	14.73%	13.67%
	計	21.18%	18.29%	13.16%	29.61%	14.56%	14.93%	13.70%
無効	オンライン	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	投票用紙	0.19%	0.26%	0.23%	0.23%	0.15%	0.27%	0.20%
	計	0.18%	0.26%	0.22%	0.22%	0.14%	0.26%	0.19%



表 8 駅前図書館に関する世代別回答傾向

20代以下							
票数	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
賛成	3,559	3,526	3,569	3,059	3,541	3,502	3,494
反対	618	654	594	1,114	640	663	675
無効	3	7	8	7	1	7	4
計	4,180	4,187	4,171	4,180	4,182	4,172	4,173

30代以上							
票数	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
賛成	2,374	2,635	2,966	2,243	2,909	2,863	2,983
反対	970	719	390	1,089	444	440	353
無効	11	13	9	10	10	13	11
計	3,355	3,367	3,365	3,342	3,363	3,316	3,347

賛成	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
オンライン	76.01%	78.46%	83.67%	60.41%	79.52%	78.72%	85.29%
20代以下	85.14%	84.21%	85.57%	73.18%	84.67%	83.94%	83.73%
30代以上	70.76%	78.26%	88.14%	67.12%	86.50%	86.34%	89.12%

反対	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
オンライン	23.99%	21.54%	16.33%	39.59%	20.48%	21.28%	14.71%
20代以下	14.78%	15.62%	14.24%	26.65%	15.30%	15.89%	16.18%
30代以上	28.91%	21.35%	11.59%	32.59%	13.20%	13.27%	10.55%

表 9 駅前図書館に関する地区別回答傾向

旧黒磯地区							
票数	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
賛成	3,140	3,311	3,463	2,841	3,445	3,398	3,465
反対	876	711	548	1,161	578	591	538
無効	5	10	11	8	6	10	6
計	4,021	4,032	4,022	4,010	4,029	3,999	4,009

旧黒磯地区外							
票数	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
賛成	2,598	2,654	2,857	2,281	2,801	2,762	2,800
反対	655	606	397	970	459	469	450
無効	6	6	3	6	1	6	6
計	3,259	3,266	3,257	3,257	3,261	3,237	3,256

賛成	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
旧黒磯	78.09%	82.12%	86.10%	70.85%	85.51%	84.97%	86.43%
旧黒磯外	79.72%	81.26%	87.72%	70.03%	85.89%	85.33%	86.00%

反対	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
旧黒磯	21.79%	17.63%	13.63%	28.95%	14.35%	14.78%	13.42%
旧黒磯外	20.10%	18.55%	12.19%	29.78%	14.08%	14.49%	13.82%

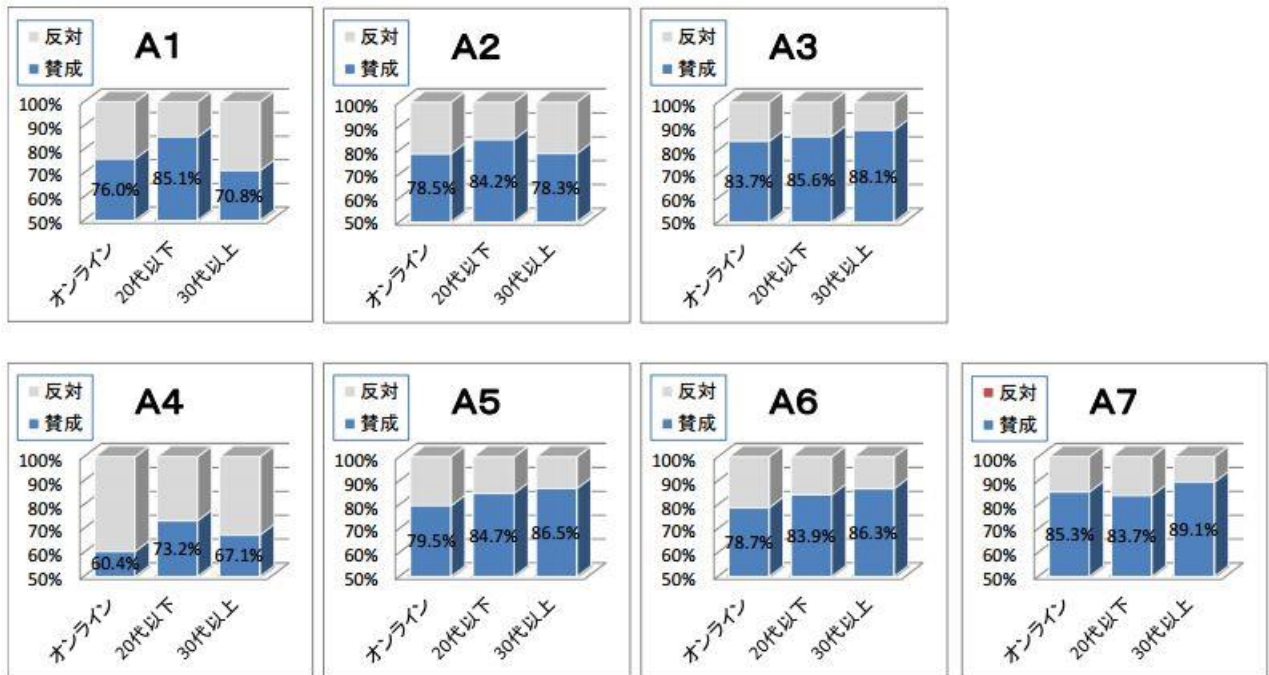


図 6 駅前図書館に関する世代別回答傾向のグラフ

## ②B. 交流センター

B6のように幅広い市民が利用でき、地域資源をアピールできる活用の仕方に人気が集まる一方で、B4やB5など限られた利用者しか見込めないアイデアには消極的である。B2について、30代以上の回答者は、20代以下の回答者に比べて多目的な学びの場、文化的な活動の場としての活用を望む割合が相対的に高い。

表 10 交流センターに関する投票項目

B1	FM黒磯を開設し、音楽や動画を配信するスタジオを併設する
B2	カルチャー教室やギャラリーなど多目的な学びの場をつくる
B3	ライブハウスや音楽室など、市民活動の発表の場づくりを進める
B4	木工作業などによるものづくりができる市民工房を設置する
B5	マッサージなどが受けられる市民の憩いの場を設置する
B6	郷土料理・地元食材を活用した食育や直売のできる「食」の施設にする

表 11 交流センターに関する投票結果

票数		B1	B2	B3	B4	B5	B6
賛成	オンライン	185	199	191	150	126	207
	投票用紙	5,625	6,096	5,843	5,635	6,041	6,515
	計	5,810	6,295	6,034	5,785	6,167	6,722
反対	オンライン	66	41	56	84	105	39
	投票用紙	1,836	1,392	1,619	1,824	1,409	977
	計	1,902	1,433	1,675	1,908	1,514	1,016
無効	オンライン	0	0	0	0	0	0
	投票用紙	24	20	26	16	28	13
	計	24	20	26	16	28	13
総計		7,736	7,748	7,735	7,709	7,709	7,751

比率		B1	B2	B3	B4	B5	B6
賛成	オンライン	73.71%	82.92%	77.33%	64.10%	54.55%	84.15%
	投票用紙	75.15%	81.19%	78.03%	75.38%	80.78%	86.81%
	計	75.10%	81.25%	78.01%	75.04%	80.00%	86.72%
反対	オンライン	26.29%	17.08%	22.67%	35.90%	45.45%	15.85%
	投票用紙	24.53%	18.54%	21.62%	24.40%	18.84%	13.02%
	計	24.59%	18.50%	21.65%	24.75%	19.64%	13.11%
無効	オンライン	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	投票用紙	0.32%	0.27%	0.35%	0.21%	0.37%	0.17%
	計	0.31%	0.26%	0.34%	0.21%	0.36%	0.17%

表 12 交流センターに関する世代別回答傾向

20代以下						
票数	B1	B2	B3	B4	B5	B6
賛成	3,141	3,210	3,269	3,063	3,450	3,523
反対	1,018	949	888	1,096	710	635
無効	9	11	10	7	10	5
計	4,168	4,170	4,167	4,166	4,170	4,163

30代以上						
票数	B1	B2	B3	B4	B5	B6
賛成	2,484	2,886	2,574	2,572	2,591	2,992
反対	818	443	731	728	699	342
無効	15	9	16	9	18	8
計	3,317	3,338	3,321	3,309	3,308	3,342

賛成	B1	B2	B3	B4	B5	B6
オンライン	73.71%	82.92%	77.33%	64.10%	54.55%	84.15%
20代以下	75.36%	76.98%	78.45%	73.52%	82.73%	84.63%
30代以上	74.89%	86.46%	77.51%	77.73%	78.33%	89.53%

反対	B1	B2	B3	B4	B5	B6
オンライン	26.29%	17.08%	22.67%	35.90%	45.45%	15.85%
20代以下	24.42%	22.76%	21.31%	26.31%	17.03%	15.25%
30代以上	24.66%	13.27%	22.01%	22.00%	21.13%	10.23%

表 13 交流センターに関する地区別回答傾向

旧黒磯地区						
票数	B1	B2	B3	B4	B5	B6
賛成	3,061	3,264	3,081	3,030	3,198	3,476
反対	917	734	899	946	781	530
無効	12	9	12	7	10	5
計	3,990	4,007	3,992	3,983	3,989	4,011

旧黒磯地区外						
票数	B1	B2	B3	B4	B5	B6
賛成	2,375	2,647	2,573	2,430	2,644	2,831
反対	860	593	663	807	582	408
無効	8	8	10	6	14	4
計	3,243	3,248	3,246	3,243	3,240	3,243

賛成	B1	B2	B3	B4	B5	B6
旧黒磯	76.72%	81.46%	77.18%	76.07%	80.17%	86.66%
旧黒磯外	73.23%	81.50%	79.27%	74.93%	81.60%	87.30%

反対	B1	B2	B3	B4	B5	B6
旧黒磯	22.98%	18.32%	22.52%	23.75%	19.58%	13.21%
旧黒磯外	26.52%	18.26%	20.43%	24.88%	17.96%	12.58%

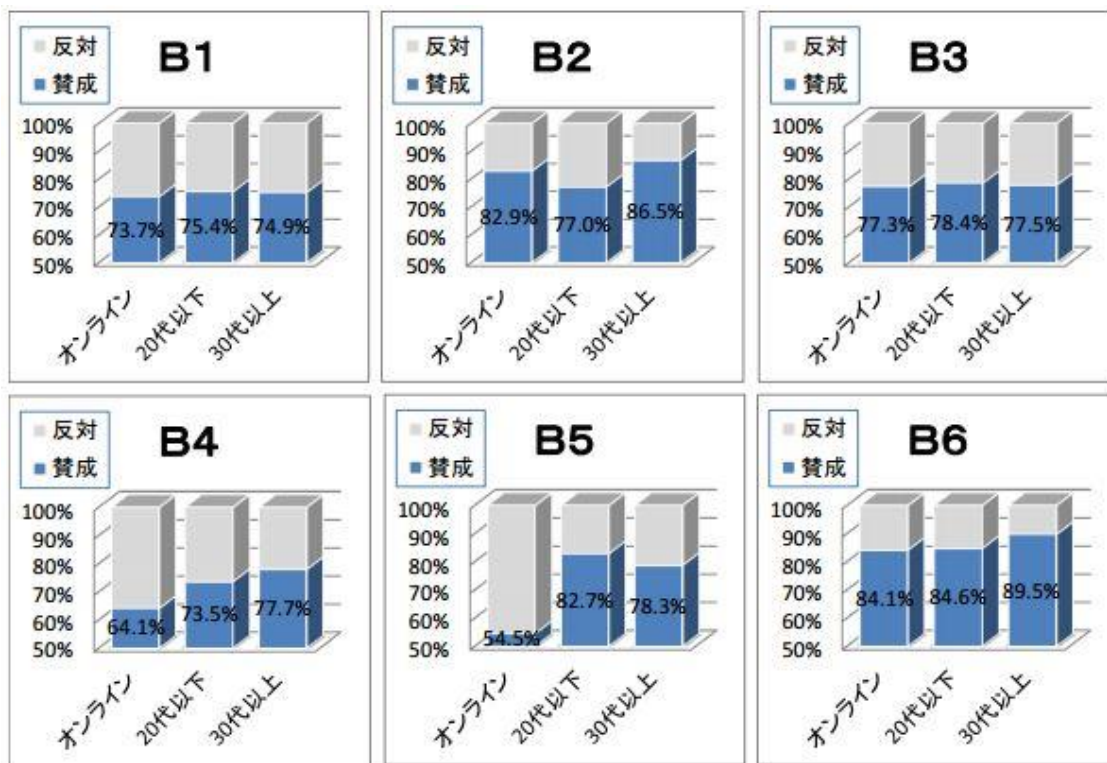


図 7 交流センターに関する世代別回答傾向のグラフ

### ③C. まちなか環境

C2、C5など地域PRに関する意見が人気を集める一方で、C1など限られたターゲットのニーズに応える意見には消極的である。

また、C6の反対意見が高いことから、これからのまちのありかたに合わせてライフスタイルを変革させるという考え方よりも、現状の生活の利便性を求める声が高いという傾向が見られる。

C4は、30代以上の回答者からの支持が高い一方で、20代以下の回答者からあまり支持されていない傾向が見られる。このようなことから若者は、歴史的なものに対する関心が低い傾向にあると考察できる。

表 14 まちなか環境に関する投票項目

C1	貴賓室などの鉄道資産を活用し、鉄道ファンを誘引する
C2	東北の産物、関東の産物が交差する市場を創設する
C3	レンタルサイクルを導入し、クルマなしで移動できるようにする
C4	明治～大正～昭和の建造物を活かした景観づくりを進める
C5	枕木活用の歩道など、特色ある道路整備を進める
C6	駅前地区の安全性のための郊外駐車と駅近辺の歩行者天国化を進める

表 15 まちなか環境に関する投票結果

票数		C1	C2	C3	C4	C5	C6
賛成	オンライン	174	194	188	210	200	165
	投票用紙	5,388	6,623	5,955	6,056	6,252	5,380
	計	5,562	6,817	6,143	6,266	6,452	5,545
反対	オンライン	64	45	55	34	38	69
	投票用紙	2,088	868	1,523	1,449	1,221	2,075
	計	2,152	913	1,578	1,483	1,259	2,144
無効	オンライン	0	0	0	0	0	0
	投票用紙	18	15	23	20	16	34
	計	18	15	23	20	16	34
総計		7,732	7,745	7,744	7,769	7,727	7,723

比率		C1	C2	C3	C4	C5	C6
賛成	オンライン	73.11%	81.17%	77.37%	86.07%	84.03%	70.51%
	投票用紙	71.90%	88.24%	79.39%	80.48%	83.48%	71.84%
	計	71.93%	88.02%	79.33%	80.65%	83.50%	71.80%
反対	オンライン	26.89%	18.83%	22.63%	13.93%	15.97%	29.49%
	投票用紙	27.86%	11.56%	20.30%	19.26%	16.30%	27.71%
	計	27.83%	11.79%	20.38%	19.09%	16.29%	27.76%
無効	オンライン	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	投票用紙	0.24%	0.20%	0.31%	0.27%	0.21%	0.45%
	計	0.23%	0.19%	0.30%	0.26%	0.21%	0.44%

表 16 まちなか環境に関する世代別回答傾向

20代以下						
票数	C1	C2	C3	C4	C5	C6
賛成	2,738	3,611	3,343	3,173	3,464	2,963
反対	1,423	552	820	991	702	1,195
無効	5	7	9	7	6	11
計	4,166	4,170	4,172	4,171	4,172	4,169

30代以上						
票数	C1	C2	C3	C4	C5	C6
賛成	2,650	3,012	2,612	2,883	2,788	2,417
反対	665	316	703	458	519	880
無効	13	8	14	13	10	23
計	3,328	3,336	3,329	3,354	3,317	3,320

賛成	C1	C2	C3	C4	C5	C6
オンライン	73.11%	81.17%	77.37%	86.07%	84.03%	70.51%
20代以下	65.72%	86.59%	80.13%	76.07%	83.03%	71.07%
30代以上	79.63%	90.29%	78.46%	85.96%	84.05%	72.80%

反対	C1	C2	C3	C4	C5	C6
オンライン	26.89%	18.83%	22.63%	13.93%	15.97%	29.49%
20代以下	34.16%	13.24%	19.65%	23.76%	16.83%	28.66%
30代以上	19.98%	9.47%	21.12%	13.66%	15.65%	26.51%

表 17 まちなか環境に関する地区別回答傾向

旧黒磯地区						
票数	C1	C2	C3	C4	C5	C6
賛成	2,924	3,571	3,183	3,265	3,326	2,873
反対	1,072	426	801	749	663	1,108
無効	6	9	11	11	5	19
計	4,002	4,006	3,995	4,025	3,994	4,000

旧黒磯地区外						
票数	C1	C2	C3	C4	C5	C6
賛成	2,300	2,833	2,571	2,597	2,724	2,327
反対	931	409	673	645	512	899
無効	8	3	9	6	8	10
計	3,239	3,245	3,253	3,248	3,244	3,236

賛成	C1	C2	C3	C4	C5	C6
旧黒磯	73.06%	89.14%	79.67%	81.12%	83.27%	71.83%
旧黒磯外	71.01%	87.30%	79.03%	79.96%	83.97%	71.91%

反対	C1	C2	C3	C4	C5	C6
旧黒磯	26.79%	10.63%	20.05%	18.61%	16.60%	27.70%
旧黒磯外	28.74%	12.60%	20.69%	19.86%	15.78%	27.78%

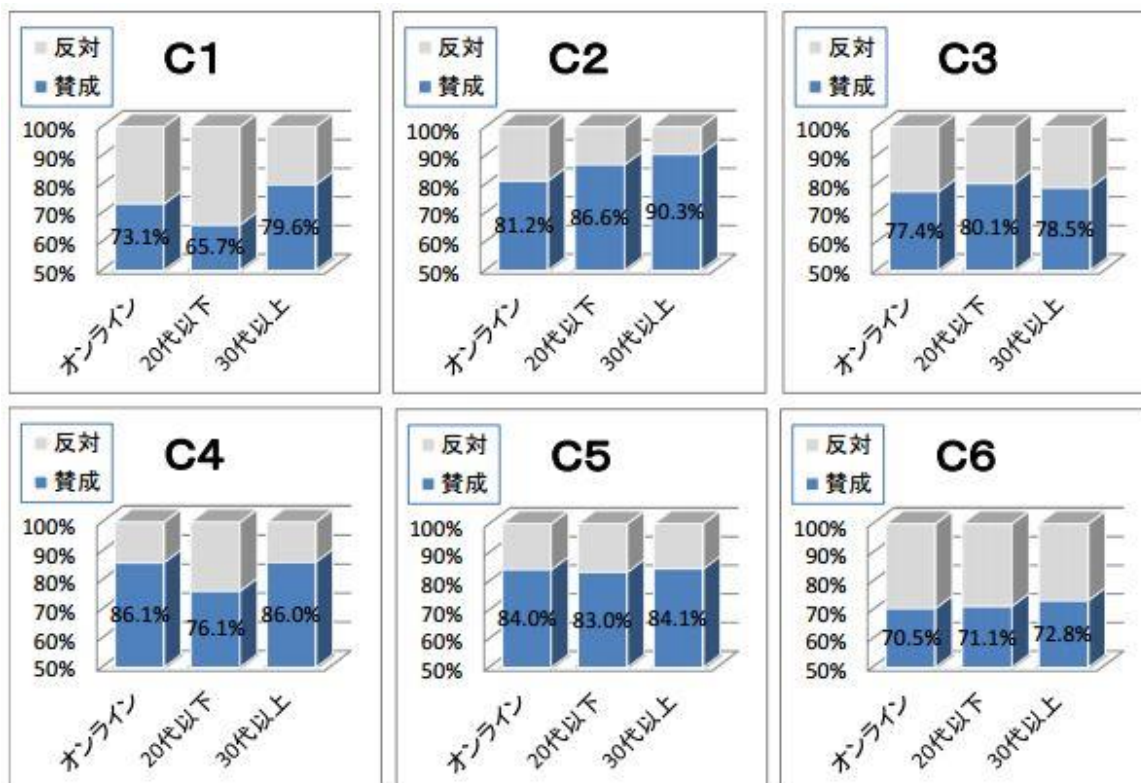


図 8 まちなか環境に関する世代別回答傾向のグラフ

#### ④D. 空き家活用

D1幅広い市民が参画できるようなアイデアに賛成が多い一方で、D5など参加者が限定的になりそうな企画に対する反対意見が多い傾向にある。また、D4は、全世代の回答者から支持され、地域資源を有効活用し、観光客の取り込みを望む割合が高いものと思われる。

表 18 空き家活用に関する投票項目

D1	商店街空き店舗改修ワークショップの開催と活用アイデアの募集をする
D2	クルマなしでも生活できるコンパクトシティ環境への集住を進める
D3	駅近郊の空き家を手軽に活用できる空き家バンクを創設する
D4	乳製品を活かした店を駅前で開き観光客の誘致を促進する
D5	日替わりの店をつくり、開業希望の若者がトライアルできる創業支援を行う

表 19 空き家活用に関する投票結果

票数		D1	D2	D3	D4	D5
賛成	オンライン	218	196	214	192	178
	投票用紙	6,544	6,065	6,015	6,583	5,907
	計	6,762	6,261	6,229	6,775	6,085
反対	オンライン	24	45	24	47	62
	投票用紙	942	1,410	1,454	898	1,542
	計	966	1,455	1,478	945	1,604
無効	オンライン	0	0	0	0	0
	投票用紙	17	19	23	16	24
	計	17	19	23	16	24
総計		7,745	7,735	7,730	7,736	7,713

比率		D1	D2	D3	D4	D5
賛成	オンライン	90.08%	81.33%	89.92%	80.33%	74.17%
	投票用紙	87.22%	80.93%	80.29%	87.81%	79.04%
	計	87.31%	80.94%	80.58%	87.58%	78.89%
反対	オンライン	9.92%	18.67%	10.08%	19.67%	25.83%
	投票用紙	12.55%	18.82%	19.41%	11.98%	20.63%
	計	12.47%	18.81%	19.12%	12.22%	20.80%
無効	オンライン	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	投票用紙	0.23%	0.25%	0.31%	0.21%	0.32%
	計	0.22%	0.25%	0.30%	0.21%	0.31%

表 20 空き家活用に関する世代別回答傾向

20代以下					
票数	D1	D2	D3	D4	D5
賛成	3,479	3,287	3,151	3,582	3,240
反対	673	871	996	579	903
無効	8	6	11	7	9
計	4,160	4,164	4,158	4,168	4,152

30代以上					
票数	D1	D2	D3	D4	D5
賛成	3,065	2,778	2,864	3,001	2,667
反対	269	539	458	319	639
無効	9	13	12	9	15
計	3,343	3,330	3,334	3,329	3,321

賛成	D1	D2	D3	D4	D5
オンライン	90.08%	81.33%	89.92%	80.33%	74.17%
20代以下	83.63%	78.94%	75.78%	85.94%	78.03%
30代以上	91.68%	83.42%	85.90%	90.15%	80.31%

反対	D1	D2	D3	D4	D5
オンライン	9.92%	18.67%	10.08%	19.67%	25.83%
20代以下	16.18%	20.92%	23.95%	13.89%	21.75%
30代以上	8.05%	16.19%	13.74%	9.58%	19.24%

表 21 空き家活用に関する地区別回答傾向

旧黒磯地区					
票数	D1	D2	D3	D4	D5
賛成	3,482	3,199	3,184	3,527	3,113
反対	517	795	807	471	864
無効	8	11	11	7	12
計	4,007	4,005	4,002	4,005	3,989

旧黒磯地区外					
票数	D1	D2	D3	D4	D5
賛成	2,864	2,661	2,652	2,851	2,609
反対	377	576	583	389	623
無効	5	5	8	5	8
計	3,246	3,242	3,243	3,245	3,240

賛成	D1	D2	D3	D4	D5
旧黒磯	86.90%	79.88%	79.56%	88.06%	78.04%
旧黒磯外	88.23%	82.08%	81.78%	87.86%	80.52%

反対	D1	D2	D3	D4	D5
旧黒磯	12.90%	19.85%	20.16%	11.76%	21.66%
旧黒磯外	11.61%	17.77%	17.98%	11.99%	19.23%

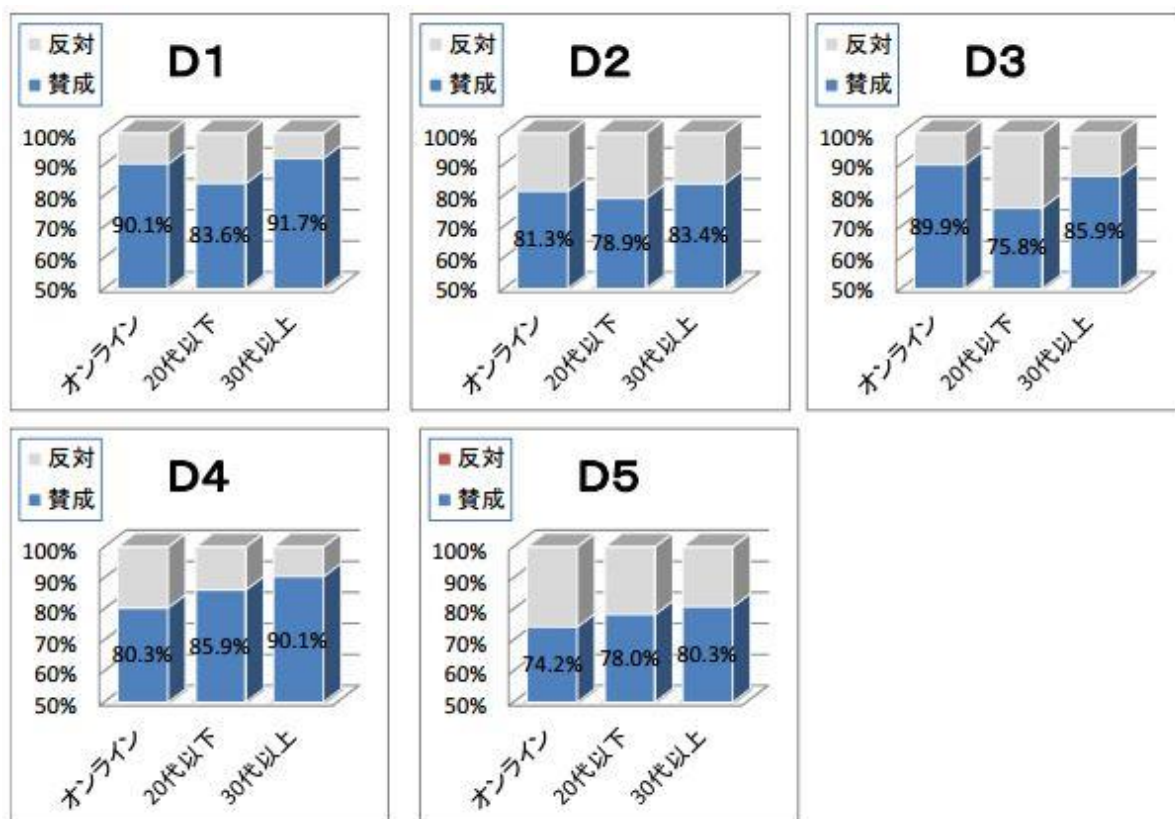


図 9 空き家活用に関する世代別回答傾向のグラフ

### (3) 自由記述欄の傾向

#### ①A. 駅前図書館に関する意見

- ・図書館や交流センターという2つの施設ではなく統合型を望む意見
- ・旧図書館をなくすなどの新施設としての機能性強化を望む意見

#### ②B. 交流センターに関する意見

- ・クラブ活動ができる場所が欲しいという意見
- ・外国人との交流や異文化に触れる機会を増やしたいという意見
- ・観光しながら散歩できるまちなみにしたいという意見
- ・イベントや既存の施設を活用した展開などを考えて欲しいという意見
- ・定期的に市民が参加できる朝市のような企画を習慣化させたいという意見

#### ③C. まちなか環境に関する意見

- ・東北本線の始発、終着駅としての黒磯駅をアピールしてほしいという意見
- ・那須塩原市や黒磯駅前ならではの地域資源をアピールし、特徴を持たせたいという意見
- ・子どもの喜ぶ都心部で話題の店を入れて欲しいという意見
- ・駐車場の確保に関する意見
- ・自転車レンタルなど車生活からの脱却を促す政策を行いたいという意見
- ・不良を減らすまちづくりを推進したいという意見
- ・ゴミを減らすアクションを行いたいという意見

#### ④D. 空き家活用に関する意見

- ・駄菓子屋など昭和を彷彿とする店を導入したいという意見
- ・老舗だけではなくコンビニなど機能性のある店を導入したいという意見
- ・夜遅くまでの営業施設を増やし、未成年の溜まり場になる環境を作らないで欲しいという意見
- ・シャッター通りでなくしたいという意見

#### ⑤プロジェクト全般に関する意見

- ・投票におけるシステム改良に関する意見
- ・予算に対する費用効果に関する危惧の意見
- ・市民の生活補助などソフト面に予算を回して欲しいという意見
- ・実際の開発計画への市民参画を求める意見
- ・図書館や交流センターなど建設物が特定されていることへの改善要望の意見

#### ⑥その他

- ・子どもたちの遊べる公園や施設を増やしたいという意見
- ・託児所に資格を持った方を常駐させたいという意見
- ・子どもの遊び場だけではなく、保護者がお茶できる環境を整えたいという意見



#### (4) Web サイトに寄せられた意見とそれに対する投票結果

投票用インターネットサイトで、市民が自らの活性化に係わるアイデアを投稿し、そのアイデアに対して賛否の投票を行えるようにすることで、活性化案の参考にできるようにした。

表 22 Web サイトに寄せられた投票項目と投票結果

年代	投票項目	賛成	反対	計
40	施設の開発、開設だけではなく、その後の長期にわたる運営を市民参画で実現できる仕組みづくりに対して、試行的な施策を柔軟に投入できる予算の確保を行う。	116	20	136
40	交流センターの上階に居住エリアを作る。 お店を閉めている又は閉める住居兼店舗のオーナーさんや起業のために転居する人に入居を斡旋して、空き店舗を積極的に活用できる環境を整える。	53	24	77
40	まっさら（ゼロ）にしてただの広場・公園（セントロ）にしちゃう。なるだけ禁止事項や制限をなくして、団体に属していない個人でも自由に商行為や音楽活動、遊べる自由広場とし、市民の自己責任と自治のもと管理する。まずはゆくりと自主的なソフト（人）を集めたい。	72	132	204
40	まず駅前に「寄席」を作って野暮ったい街に粋な雰囲気を漂わせる。立ち飲み屋街を作って、粋なオヤジや男衆を集め、男手を増やしていこう。まだまだやり足りないシニア世代とチカラ有り余る若い衆がアツく街を作り上げていく、ドライな街にそんな人情ドラマをみたい。	74	64	138
不明	街灯を増やす。通勤で駅を利用するひが多いのに暗い。防犯面の強化。	65	8	73
40	なぜ今黒磯駅前を活性化する必要があるのかわかりません。かつては那須への玄関でしたが、今は那須塩原駅が那須への玄関です。観光客を呼び込みたいのであれば、那須塩原駅周辺を活性化するべきです。黒磯は役目を終えたと思います。時代の流れです。補助金は他に使って欲しいです。	91	180	271
60	とにかく空き家を活用することや図書館等もその所へ行くためには車が無い事には行けない状況なので駐車スペースを確保してから他の事に取りかからなければならないと思います。	189	30	219

年代	投票項目	賛成	反対	計
不明	終点黒磯の名で都心部でも黒磯の文字を目にします。名前は知っているが、やはり黒磯よりも那須。黒磯よりも那須塩原。それらの観光地への玄関口というイメージ。那須への交通機関を那須塩原よりも充実させる。	41	18	59
40	放課後子ども教室の設置を提案します。地域の大人の協力を得て人材を活用し子どもたちの活動拠点（居場所）を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援する場を設置。異年齢の子どもたちが安全で楽しく過ごすことのできる『居場所づくり』を目的。	53	15	68
30	【スケートパークの施設】 安心・安全にスケートボードや BMX（自転車）が練習出来る環境が欲しい。若者たちが積極的に参加できる施設が黒磯駅前にあると良いと思う。長く活気のある街にする為には若い力が必要。子供たちがお年寄りとおふれあいそして教わり学び、未来ある街にしたい。	99	99	198
50	【駅前フリースペースで賑を取り戻す】駅前から旧4号へ抜ける駅前通りを拡幅し、大きなフリースペースを作り出し、常に人が集える場所とします。様々なイベントを開催することで、人が集まり、賑のある駅前となると思います。駐車場の併設が重要です。	31	17	48
50	【特定の公共施設は活性化につながりにくい】図書館などの公共施設では、特定の人達しか利用しません。多くの人が集えて、自由に活用できる場所こそが、活性化につながると思います。駅前の活性化には、観光客も含め地元民以外の人たちに目を向けたいです。	44	10	54
40	空家は街づくり団体（青年団体）などに無料で貸出。また、これから起業する方への支援。イベントを開ける公園など。それに伴い駐車場の確保。那須塩原駅から黒磯駅、西那須野駅をつなぐルートを造る。この動線が出来なければ建物を造っても、集客にはつながらないと感じます。	53	8	61

年代	投票項目	賛成	反対	計
40	駅前活性化はその周りの街がどのような街かによります。駅前だけの活性化ではなく、仕事や教育の場が充実した街づくりをすれば駅前も自然に発展、活性化されると思います。企業誘致や教育環境の充実をすれば駅の利用者も増え、駅前には活気のあるお店が増えていくと思います。	47	4	51
不明	線路沿いという立地を活かし、図書館の線路側に新幹線を真横に見ながら飲食できるラウンジスペースやテラスを設け、鉄道に関心のある人や、子どもたちを中心とした家族連れが自由に出入りできるスペースにする。幅広い世代を駅前に集めるために、鉄道は活用する価値があると思います。	94	20	114
40	図書館は、黒磯図書館をリノベーション・開館時間・WI-Fi 環境等ソフト面を充実させて黒磯駅から歩きまわれる図書館が良い。	36	17	53
40	駅前商店街に、クリエイター、企業誘致（リバースプロジェクト等）する。	29	19	48
40	駅前に図書館は必要ない。既存の図書館を活用すれば良い。財源の無駄使い。図書館を建設する財源をもっと有効に活用して欲しい。	41	26	67
30	図書館建てるならそれこそ空き家使って、SHOZO さん隣の白線文庫さんみたいな作ったら良いです。新しい建造物だとあの街並みと景観が喧嘩するし。新しく建てるよりお金浮くし。その分ブランド構築とかソフト面にお金使ったら。立派な箱モノ建てても魅力なかったら結局、人は来ないと思います	54	14	68
30	那須塩原と言うと自然と食べ物が美味しいイメージがあります。黒磯市内はオシャレな カフェや食事できる場所が分かりずらいし、少ないと思うので shouzou カフェの様に他県からも来たくなるような場所が多くできると良いと思う。その上で、空き家をうまく利用して貰いたい。	51	11	62
40	大田原のトコトコのように土日でも子供と遊べる室内施設を隣接願いたい また高齢者の憩いの場になるような無料送迎付きの施設が欲しい	176	44	220

年代	投票項目	賛成	反対	計
不明	子供たちが安全に遊べる所が少ないと思います！震災以来子供たちが公園から遊ぶ姿がかなり減ったと思いませんか？せっかく新しい活性化されるものが出来るのであれば、未来ある子供たちの施設が出来てもいいと思います！子供が安心して遊べる街こそ活性化される街ではないでしょうか	49	6	55
不明	黒磯より南の人たちは、みんな那須塩原で降りる。なぜなら、那須塩原駅の近くには「アウトレット」や「イオン」などの商業施設があるから。黒磯駅にきて！って言われなくても行きたくなる駅にしなきゃ。行きやすい道も必要。そうすれば県外からも訪れてくれますよ。	33	12	45
不明	子供から大人まで使える、駅から近いフットサルができる体育館が欲しい。	18	25	43
不明	駅から離れた商店や飲食店が自慢の逸品を販売できる直売所を設けてはどうか。駅前商店街だけが恩恵を受けるような活性化プロジェクトではもったいない。	129	12	141
30	提言 A7 に関連して、ソーシャルデザインの講習会を開くことも同時に検討してはいかがでしょうか。即効性はないかも知れませんが、地域資源の活用法や街の課題点など、市民みんなが考える力を養えば将来大きな力になると思います。	25	13	38
30	提言 032 に関連しまして、大掛かりな事ではありますが、駅の名前を「那須黒磯」等、変更することも視野に入れるのはいかがでしょうか。黒磯がどこにあるのか、イメージしやすいものへ変更すれば黒磯の知名度も上がるかも知れませんが、那須塩原市の管轄ではないかと思いますが、提言いたします。	19	25	44
30	図書館を TUTAYA みたいに、夜間・早朝でも本が返せるボックスの設置。	35	8	43

年代	投票項目	賛成	反対	計
不明	市内で育った息子はクワガタ捕りに夢中になった。タガメの繁殖を2年続けて取り組み詳細な記録と標本を残した。身近に様々な生態系がある。この環境を市民が学び展開させて新たな観光にする。空き家を宿とし、図書館や交流センターにガイド育成の場、市民による観光商品企画開発の拠点をつくる。	81	33	114
不明	閉鎖された湯街道踏切には、小さい頃祖父とよく電車を見に行っていた思い出があります。電車を間近で見られる場所が無くなり残念。歩行者専用で踏切を復活させ、駅の東西に電車や機関車がよく見える遊歩道やミニ公園を整備する。黒磯駅は魅力的です。JRの全面協力を頂いて良い計画を立ててください。	34	9	43
40	そもそも黒磯駅前に新しい図書館は必要なのか？ 黒磯駅前はどうすれば活性化するのかを、市民全体でもう一度考え直すべきではないでしょうか。国の交付金があるとはいえ、半分は市の予算なんですから、みんながいらないと思っているものを作る必要はない。	140	64	204
不明	黒磯駅前の信号機にゼブラ模様の背面板を取り付け、昭和の雰囲気を出すのはいかがでしょうか。現在の駅前駐車場にあった黒磯警察署の庁舎を復元し、交流センターとして活用する。駅前を昭和40年代の街並みに復元させ、新たな観光スポットにする。	38	36	74
不明	子供が遊べる施設があると便利。プールボールや、すべりだい、おままごとや遊具、トコロ大田原にあるような、子供が楽しめる場所がほしい！	34	13	47
30	「ここに来れば外国人と交流ができる」「ここに来れば地域文化を学びつつ、何かホッとする」そんな国際交流広場の設置を希望。外国人が「気軽に」利用できる場でありつつ、子からお年寄りまで幅広い年齢層の方々に国際的な感覚を自然に養っていただくことで、豊かな人間性・国際性を育めればと思う。	30	12	42
40	オリンピックに向けてのオリンピック選手と関係者達が訪れたいと思わせるプロジェクト形成をしてほしい。ゴールドメダルの選手はホテル宿泊とか銅メダルは温泉日帰りのような那須塩原の駅に来てもらえたらいいと思います。駅前や商店街、観光施設の活気につながり、市全体のアピールになると思います。	36	72	108

年代	投票項目	賛成	反対	計
40	交流センターの野外では多機能に使えるスペースにする、例えば冬は仮設テントを設置してスケート場にも出来ちゃう多機能型スペース。	28	12	40
30	日曜日の昼間は、駅前から旧4号線までの道路を歩行者天国にするのはどうでしょうか。観光客を迎える施設より、市民が利用したいと思う施設、商店、イベントが必要だと思います。	25	17	42
30	駅前に図書館をと言っても、図書館にこういった可能性があるかピンとこない方も多いと思います。「特定の方しか利用しない」という意見もあるほどです。まずは図書館をどのように利用できるのか、慶応大の糸賀雅児氏など図書館の活用に意欲的な方を呼んでのPRを、建設に先立って行うのはどうでしょう	30	14	44
50	そんな事より、まずは駅前の店の営業時間 シャッターが下りてる店から改革優先。現状は車社会、黒磯中心に子供がいないのに 何考えているのか？ 外に出ている跡継ぎが先	108	68	176
40	提言されているような図書館や交流センターは、旧西那須野、塩原町民など、多くの市民に使われやすくすべきもので、黒磯駅前活性化とは別の案件。	22	23	45
60	先ずは人同士の交流を図ること。 それを実現する為に、何を維持すれば良く何が足りないのかポジティブに議論し課題を評価する事。建設的なパワーを出しましょう！ 揚げ足を取ることに長けている方達には〇〇委員会(仮称)などの重要な機関を設置し、大いに実力を発揮して頂くことを期待します。	22	11	33
50	黒磯駅前に、地元素材を使った新名物となる「駅弁」とそれを売る「駅弁屋さん」があるといいと思います。インパクトのある駅弁なら、鉄道ファンのみならず、全国で黒磯駅の知名度をあげられるのでは？	36	7	43
50	黒磯駅や駅前通りのファンを作ることが肝心だと思いますが、さらに周辺のお店などが、今以上に自分のファンを作ることが重要だと思います。そして、それらを支援するために補助金に頼らない「まちづくり会社」が、持続可能な運営をする必要があると考えます。	28	6	34

年代	投票項目	賛成	反対	計
40	まず根本的なところから駅周辺に無料の駐車場を整備する必要があるのでは？イベントがあるたびに最初には駐車場探しになるため、出足が鈍る原因になっている気がします。	31	9	40
不明	黒磯駅周辺に主となる店がないので、電車で来たとしても徒歩圏内で遊べる場所が少ない。車移動だけではなく、電車移動の人も両方視野に入れるべきでは？広い通りに店が集中している傾向があるので、駅周辺にもお洒落で便利な店が欲しい。ヨークベニマルでは物足りない。	132	28	160
不明	観光客や市民の足を向けるには駐車場の確保も必要。市営駐車場を駅前にじゅうぶんに整備し、買い物をした客はもちろん、市民は住基カード等に機能を付けて、駐車場の機械に通せば駐車料が数時間無料になる等のサービスもあっても良いと思う。	29	9	38
40	那須塩原市の税金を使うなら、市の玄関口である那須塩原駅周辺に使うべき。黒磯駅周辺は商店街や有志で出来る範囲の事を考えては。仕事上、いろいろな駅周辺を見てますが、黒磯駅は今のままでも良いと思いますよ。その方が自然です。私は不自然に金をかけた街にこそ、違和感を感じます。	21	23	44
40	駅を橋上駅にすることにより、東口の人々を西口の商店街に引き込むと同時に駅利用者を増やす。また駅前の発展は駅の利便性が鍵。黒磯駅を中心にの快速列車を新白河と宇都宮間で運行をし集客を図る。	12	8	20
30	観光客が黒磯駅に寄ってから那須高原に観光したいと思う流れを作って貰いたい。高速道路のサービスエリアなどはそこでしか味わえない又は体験できない魅力がありテレビでの特集が良くある。(楽しい)黒磯駅周辺では、こんな楽しみがある環境。女性や子供達がターゲットとした環境ができると良い。	16	4	20
30	図書館には反対ですが、どうしても作るなら、メインのエントランスを東口にして、連絡通路を兼ねたものにし、東口にロータリーや広場、駐車場を整備して欲しい。4号からのアクセスの良さ、「駅前」が両サイドに広がる可能性がある。東西の風通しを良くして、新しい人の流れを作る事が活性化になる。	16	2	18

年代	投票項目	賛成	反対	計
30	素晴らしいご提案感服しております。しかし経済成長を前提とした産業と観光を当てにした「活性化」のように見えます。生活自体を見直し食料やエネルギーを地域で賄い循環させ独自の経済を作っていく上で黒磯駅前をどのような位置づけとして考え機能させていくかを考え計画した方が良いと思います。	28	4	32
30	現在新しいお店ができ、地域の人により駅前が良くなっているように思っているが、公の大金と外部の人に頼った活性化には疑問を感じる。	7	1	8

※オンラインに寄せられた投票項目数：52件

○オンラインに寄せられた投票項目の傾向

- ・駐車場の利便性
- ・空き家などの資源の有効活用
- ・駅への動線を意識した改革
- ・世代間交流の促進及び若者への教育活動
- ・趣味の共有
- ・有識者を呼びこむ仕掛け作り
- ・図書館建設への反対



### 3. 黒磯駅前活性化案（えきっぷくろいそからの提言）

「えきっぷくろいそ」は、平成27年1月13日にワークショップを開催し、市民投票の結果を踏まえて、黒磯駅前活性化案を協議した。

その中で、「駅前図書館」「交流センター」「まちなか環境」に関しては、コンセプトと提言内容について、「空き家活用」に関しては、提言内容と実現するための方法について具体的な検討を行い、次のとおり取りまとめた。

#### （1）駅前図書館

##### ①コンセプト

『人が集まり新しいことが生まれる図書館』

##### ②提言内容

- ・ 来訪者に分かりやすい駅チカの観光案内所を併設する
- ・ 朝6時から夜22時までの長時間にわたり営業する
- ・ 専門的な本がある
- ・ グループワークが行える場所
- ・ ソファを設けて飲食やおしゃべりができる場所
- ・ 子どもを安心して連れて来られる託児所を作る

##### ③総括

駅前図書館は、観光客・外国人・世代の異なる人など様々な人々との交流拠点となるような施設にすることで、図書館機能に加え、黒磯駅前を中心に那須塩原市全域を盛り上げるようなアイデアが生まれる場とする。施設環境は、多くの人々との意見交換ができるよう、飲食やおしゃべりができる場所やグループワーク室を用意し、アクティブラーニングの促進を行えるようにする。また、営業時間は長時間営業を目指し、様々なターゲットのニーズに応える。

#### （2）交流センター

##### ①コンセプト

『世代を超えて集い合う食と学びと憩いの交流センター』

##### ②提言内容

- ・ 食に関する施設が充実した場
- ・ 多目的な学びの場
- ・ 市民の憩いの場

### ③総括

交流センターは、食の多面的機能を体感できる環境を充実させ、「作る」・「加工する」・「売る」・「食べる」といった過程を堪能できる施設を充実させる。また、「春のお花見」、「夏のビアガーデン」、「秋のおまつり、巻狩鍋」、「冬のけんちん汁」など季節を感じられる行事を実施できるような空間づくりを意識する。また、栄養士など食の専門家の協力を得て、食に関する知識を身につけられる環境も整備する。

その他の機能は、人々が集い交流できる、多目的なスペースを用意し、「食」をテーマに多様な活動が展開できる環境を整える。

## (3) まちなか環境

### ①コンセプト

『温泉の玄関口として、鉄道駅を生かした昭和の景観』

### ②提言内容

- ・ 枕木の活用の歩道など、特色ある道路整備を進める
- ・ 明治・大正・昭和の建造物を生かした景観作り
- ・ 東北と関東の名産品市場
- ・ 車でも行きやすいように駐車場の設置
- ・ 貴賓室の活用など鉄道ファンが楽しめる PR

### ③総括

まちなか環境のコンセプトは大きく分けて2点のアプローチから提案する。

1点目は、駅の活用である。東北本線の始発終着駅となっている黒磯駅の特色を活かした東北と関東の名産品市場を設ける。また、貴賓室や直流・交流電流の切り替え方式などのPRにより、多くの来街者を招き入れ、市内の経済の活性に結び付けられる仕掛けを生み出したいと考える。

2点目は、駅舎を含めた駅から板室温泉に繋がる街道の景観統一及び動線の確保である。昭和の建物を活用した景観づくりに留まらず、枕木で栄えたまちの象徴として、「木目調の電柱」、「枕木による道路舗装」など雰囲気醸し出すまちなみを創出し、楽しく散策できるまちづくりを行う。また、車からのアクセスを向上するよう、メインの動線の外れに定間隔で駐車場を設けるなどの配慮も施し、訪問する人々の利便性向上を図る。

## (4) 空き家活用

### ①提言内容

- ・ 空き家情報の収集を実行
- ・ 空き家活用ワークショップを実施
- ・ 駅近郊の空き家を手軽に活用できる空き家バンクを創設する
- ・ 空き家を活用した日替わりの店などを作り、開業希望の若者のトライアルを行う
- ・ 車なしでも生活できるコンパクトシティを目指す

### ②総括

空き家活用は、5つのステップを意識したまちづくりを支えるシステム構築を目指す。

ステップ1：空き家情報を調査したデータバンクを作成する。

ステップ2：空き家活用に関するワークショップを定期的実施し、多くの市民の参画を促す。

ステップ3：空き家バンクを開設し、より多くの市民が空き家を活用できる環境を整備する

ステップ4：空き家を活用した日替わりの店などを開設し、開業希望の若者がトライアルを行える環境などを整える。このように試験活用を行える環境を整えることで、ニーズを図った上での開業を行うことができるだけでなく、持続を見込める循環型の空き家活用を実施できる。

ステップ5：空き家の活用が活発化することで、駅近郊に人が集まる環境を整え、駅近郊では、車なしでも生活できるコンパクトシティ化を目指す。

## (5) 実現に向けて

はじめに、多くの市民の協力を得て実施した市民投票と、その結果を踏まえて策定した本提言が、平成27年度から本格的に実施される「黒磯駅周辺都市再生整備計画事業」に反映されることを期待するものである。

しかし、私たち「えきっぷくろいそ」は、上記計画の事業主体が市であることから、まずは「反映されることを期待する」としているが、まちをつくり、活性化を図る主体は市民であることを自覚し、実現に向けて取り組んでいく意欲を培ってきた。

そして今後も、私たちのまちのために、私たちの子や孫のために、ともに力を尽くしていきたいと考えている。

## 4. リバースプロジェクトの考察

本事業の開始当初は、リバースプロジェクト主体のワークショップが開催されていたものの、回数を経るにしたがって、市民主体の取組みとなり、多様な主体が参加するようになったといえる。このように市民主体のアクションに移った要因は、自らのまちを自らの手でつくりあげるために、市民が一丸となって投票項目を生み出す過程や市民投票への呼びかけを行ったからだと考察できる。このようなことから、本事業がワークショップから市民投票までの一連の流れを通して、那須塩原市にもたらした最も大きな成果は、市民1人1人へのまちづくりに対する「自分ごと化」を促したことだといえる。ワークショップ参加人数が回数を経るごとに減少傾向だったものの、投票期間を終えた平成27年1月13日の報告会は、参加人数の盛り返しを行い、「志」を持った市民が自主的に参加する環境が整ったといえる。

この報告会以降、毎週、えきっぷくろいその有志による会合が開催されていることから、今回の市民投票は、市民の心を1つにするという意味で成功したといえる。

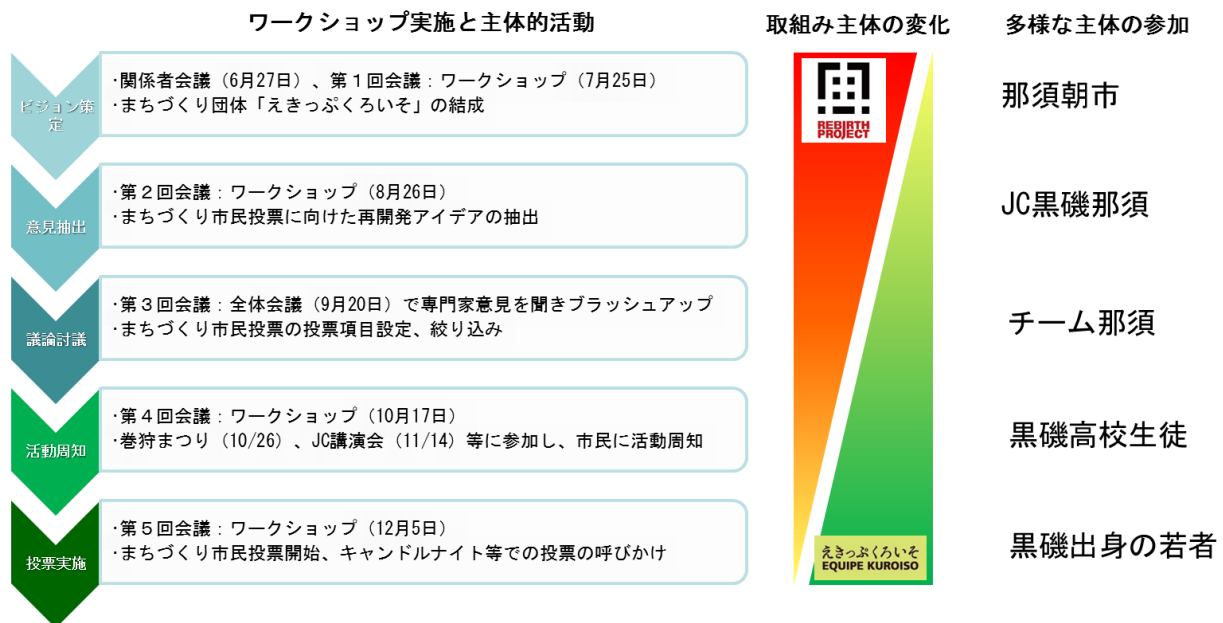


図 10 活動成果イメージ図



市民の「志」を1つに

図 11 活動の様子

ご記入のご協力をお願いします

性別 男性・女性

年代 9歳以下・10代・20代・30代・40代  
50代・60代・70代・80代・90歳以上

居住区 黒磯地区・鍋掛地区・東那須野地区  
高林地区・西那須野地区・塩原地区・市外

自由記述欄 黒磯駅前活性化についてあなたのアイデアや意見をお聞かせください。

「えきっぷくろいそ」への参加希望  
ご意見、お問い合わせはこちら



k-shoukougankou@city.nasushiobara.lg.jp

黒磯駅前活性化プロジェクトって？

黒磯駅前の活性化をテーマに、那須塩原市民が暮らしやすく、来訪者が楽しめるまちづくりを進めるためのプロジェクト。「えきっぷくろいそ」という名前で、市民と那須塩原市、そしてリバーズプロジェクトが定期的にワークショップを開催しています。図書館・交流センターや公共施設の建設計画に対して、市民が運営や使い方といったコンセプト設計に関わるとともに、駅前商店街を含めたまちの空間や空き家などをどう活用していくかを考えています。このプロジェクトを、みなさんと一緒に盛り上げていきましょう！



伊勢谷友介率いる一般社団法人リバーズプロジェクトは、持続可能な暮らしが各地で展開されることを目指しています。

【お問合せ先】那須塩原市役所 産業観光部 商工観光課  
〒325-8501 栃木県那須塩原市共豊2 108-2  
TEL: 0287-62-7154 / FAX: 0287-62-7223  
k-shoukougankou@city.nasushiobara.lg.jp



えきっぷくろいそ  
EQUIPE KUROISO

黒磯駅前活性化プロジェクト

投票用紙

まちづくり市民投票 in 那須塩原市

投票期間  
2014/12/5・12/19

那須塩原市では、まちのイメージに直結する黒磯駅周辺を市民の交流空間として整備し、まちなかを活性化させることを目指しています。この計画に広く市民の声を集めて、望まれるまちの形を模索していこうというのが今回の投票の目的です。

【投票対象者】本市のまちづくりに関心のある人 ※市民以外でも投票できます。

計画の詳しい内容については、市のホームページや広報なすしおばら平成26年9月5日号、11月20日号をご覧ください。  
那須塩原市ホームページ <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/31/275/001344.html>

※市民投票の経費は、計画実施費用・期間などを考慮の上、黒磯駅前活性化プロジェクトの参事とさせていただきます。



市民の意見をまとめるチーム  
「えきっぷくろいそ」の活動

「えきっぷくろいそ」(※えきっぷ＝フランス語で「チーム」の意味)は、図書館や交流センターなど黒磯駅前の再整備に合わせて、歴史ある商店街を含めたまちづくりを市民主体で考えていくプロジェクトです。今住んでいる人々だけでなく、10年20年とこのまちが時代を経ても持続的に暮らせるように、周辺地域や自然環境とも調和のとれたまちづくりを目指しています。

まちづくり市民投票サイトはこちら  
<http://kuroiso.rebirth-project.jp>



facebookページは  
「えきっぷくろいそ」で検索



# 黒磯駅前活性化案

**A1** 朝6時から夜22時までの長時間にわたり営業する

**A2** ソファを設けて、飲食やおしゃべりできるスペースをつくる

**A3** 来訪者に分かりやすい駅チカのカフェを併設する

**A4** 近隣のカフェに本を持ち出せる仕組みを導入する

**A5** 子どもを安心して連れて来られる託児所を設置する

**A6** 書籍を「育てる」・「食べる」などの用途別分類にする

**A7** グループワークなどに使える場所をつくる

**C1** 貴賓室など鉄道資産を活用し、鉄道ファンを誘引する

**C2** 東北の産物と関東の産物が交差する市場を創設する

**C3** レンタルサイクルを導入し、クルマなしで移動できるようにする

**C4** 明治～大正～昭和の建造物を活かした景観づくりを進める

**C5** 枕木活用の歩道など、特色ある道路整備を進める

**C6** 駅前地区の安全性のための郊外駐車と駅近辺の歩行者天国化を進める

## A 駅前図書館

賛成  
反対

時間を潰す使える図書館が欲しい。学生なら朝の通学前と下校から帰宅までの間、社会人なら朝活や帰宅前のひとときを過ごすような図書館をつくりたい。

賛成  
反対

最近流行しているカフェスタイルの書店のように、本を読みながらゆったり過ごせる空間づくりを行う。駅前の店舗との連携などにより、図書館をにぎわいエリアの一角に据える。

賛成  
反対

居住者のための施設が一般的なの図書館・観光客なども利用できる情報施設として機能させることで、黒磯だけだけでなく、那須地区の情報発信を強化する。

賛成  
反対

一般的な図書館では、図書館内だけで人の流れが完結する傾向になる。そこで、図書館で本を借りて、近隣のカフェで返却できるなど周辺施設と連携する。

賛成  
反対

子育て世代がゆっくりに図書館で過ごせるように託児所を併設。ママどうしのコミュニケーションの場にするなどの試みを通して、生きた施設として運用する。

賛成  
反対

書籍分類について、過去の学術分類ではなく、生涯や学習に必要な用途に応じた整理を行なう。また、同じ分野に関心・課題を持つ住民同士がコミュニケーションできるようにする。

賛成  
反対

学生の野外活動や、市民やNPOのまちづくり活動など、数回規模で集まって作業や議論ができるスペースを設ける。市民活動が薄の繋がりによって連携できる環境や仕組みをつくる。

賛成  
反対

黒磯駅の特長である「皇室利用駅」「交差・直流切替点」という2つを鉄道ファンが楽しめる資源として活用していく。

賛成  
反対

東北と関東が出逢う場として、両地区の名産品が手に入る市場的な機能を持たせることで、観光客が立ち寄りたくなる駅としての位置づけをしていく。

賛成  
反対

駅前エリアの移動に使える自転車をレンタルして、市民、観光客が手軽に使えるように提供する。

賛成  
反対

時代の流れを表現した明治期、大正期、昭和初期などの建物を生かして、内装改修などを施すことで、商業施設などとして使える空間としてよみがえらせる。

賛成  
反対

まちの景観の魅力を高めることで、市民の散策や観光客の誘引など回遊性を強化する試みを導入する。

賛成  
反対

駅前エリアの近隣の大型の駐車場を整備し、まちなかの移動にはクルマではなく、徒歩やその他の手段を導入することで、現在の過渡期を含めたまち全体の活用を推進する。

## 記入例

**A** 駅前

**A1** 朝6時から夜22時までの長時間にわたり営業する

**2** どんな内容が確認してください

**投票項目**

**1** どの場所・どんな分野の提案が確認してください

**3** どちらかに○を囲んでください

賛成  
反対

**B1**

FM黒磯を開設し、音楽や動画を配信するスタジオを併設する

コミュニティFMの誕生で、誰もが情報発信できる仕組みを構築。市内の情報コミュニケーションを活性化しながら、方角一の際の防災無線の補完機能を持たせて事業化する。

**B2**

カルチャー教室やギャラリーなど、多目的な学びの場をつくる

時間単位で借りられる教室をつくり、同時に参加者募集のホームページなどの発信機能を組み合わせて、市民の文化的な活動の推進をバックアップする。

**B3**

ライブハウスや音楽室など、市民活動の発表の場づくりを進める

ステージや音響設備などを整えて、市民が自分たちの発表の場として活用できる空間をつくる。

**B4**

木工作業などによるものづくりができる市民工房を設置する

流行のDIYや、ものづくり起業を応援する3Dプリンターや木工用の機械などを導入して、予約して自由に使える工房を設置して開放する。

**B5**

マッサーなどを受けられる市民の憩いの場を設置する

個室・塩原温泉などと連携して、マッサーやリラクゼーションを提供するサービスを導入する。

**B6**

郷土料理・地元食材を活用した食育や直売のできる「食」の施設にする

多人数が集まって利用できるキッチンとダイニングをセットにした空間をつくり、定期的に料理教室や食育イベント、旬の食材を使った販促会などを展開する。

**D1**

商店街空き店舗改修ワークショップの開催と活用アイデアの募集をする

空き店舗活用のアイデア審査と改修の実践ワークショップを一緒に開催し、実際に運営する事業者を募集していく。

**D2**

クルマなしでも生活できるコンパクトシティ環境への集住を進める

駅前エリアの空き家などを積極的に賃貸住宅として運用し、集住を進めることで、移動を少なく、快適に暮らせる生活環境を実現する。

**D3**

駅近郊の空き家を手軽に活用できる空き家バンクを創設する

空き家を登録して、市や任意団体が間に入って契約や事業推進などをあっせんする仕組みを構築して運用する。

**D4**

乳製品を活かした店を駅前で開き観光客の誘致を促進する

那須塩原市の名産である乳製品をアピールできる場として駅前の商業施設を活用していく。

**D5**

日替わりの店をつくり、開業希望の若者がトライアルできる創業支援を行う

駅前エリアの建物活用の一環として、短期間で店長を入れ替える方式にして飲食事業への挑戦がしやすい場の提供を促進する。

## D 空き家活用

## B 交流センター

賛成  
反対

時間を潰す使える図書館が欲しい。学生なら朝の通学前と下校から帰宅までの間、社会人なら朝活や帰宅前のひとときを過ごすような図書館をつくりたい。

賛成  
反対

最近流行しているカフェスタイルの書店のように、本を読みながらゆったり過ごせる空間づくりを行う。駅前の店舗との連携などにより、図書館をにぎわいエリアの一角に据える。

賛成  
反対

居住者のための施設が一般的なの図書館・観光客なども利用できる情報施設として機能させることで、黒磯だけだけでなく、那須地区の情報発信を強化する。

賛成  
反対

一般的な図書館では、図書館内だけで人の流れが完結する傾向になる。そこで、図書館で本を借りて、近隣のカフェで返却できるなど周辺施設と連携する。

賛成  
反対

子育て世代がゆっくりに図書館で過ごせるように託児所を併設。ママどうしのコミュニケーションの場にするなどの試みを通して、生きた施設として運用する。

賛成  
反対

書籍分類について、過去の学術分類ではなく、生涯や学習に必要な用途に応じた整理を行なう。また、同じ分野に関心・課題を持つ住民同士がコミュニケーションできるようにする。

賛成  
反対

学生の野外活動や、市民やNPOのまちづくり活動など、数回規模で集まって作業や議論ができるスペースを設ける。市民活動が薄の繋がりによって連携できる環境や仕組みをつくる。

賛成  
反対

黒磯駅の特長である「皇室利用駅」「交差・直流切替点」という2つを鉄道ファンが楽しめる資源として活用していく。

賛成  
反対

東北と関東が出逢う場として、両地区の名産品が手に入る市場的な機能を持たせることで、観光客が立ち寄りたくなる駅としての位置づけをしていく。

賛成  
反対

駅前エリアの移動に使える自転車をレンタルして、市民、観光客が手軽に使えるように提供する。

賛成  
反対

時代の流れを表現した明治期、大正期、昭和初期などの建物を生かして、内装改修などを施すことで、商業施設などとして使える空間としてよみがえらせる。

賛成  
反対

まちの景観の魅力を高めることで、市民の散策や観光客の誘引など回遊性を強化する試みを導入する。

賛成  
反対

駅前エリアの近隣の大型の駐車場を整備し、まちなかの移動にはクルマではなく、徒歩やその他の手段を導入することで、現在の過渡期を含めたまち全体の活用を推進する。